



Yonago East Weekly

【生涯の友と共に、扉を開く】

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/西村正男 ●幹事/足立博俊 ●会報/面谷博紀

出席報告

会員数 106 名
 出席数 45 名 欠席数 56 名
 出席免除会員 6 名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
 新納君 佐田山君(有) 宮本(守)君 高橋君
 出席率 51.92 %

ビジター

メイクアップ

宮永君(1/4米子南RC) 理事13名(1/5理事会)

今週のお祝

本人誕生祝:1日:船田正一君 3日 石部裕一君

5日 宮本 守君 14日 豊島良太君 15日 荒川圭三君 石井敬薫君 19日 古杉 淳君 20日 伊藤 由子君 小掠賢志君 28日 前田浩寿君 29日 野津一成君

スマイルBOX 37,000 円 (619,000 円)
 本人誕生祝:石井君、古杉君、宮本(守)君、諸遊君、小掠(賢)君、野津君、吉岡君 夫人誕生祝:江原君 結婚記念日祝:松浪君、野津君、面谷君 創立記念日祝:井上(賢)君、石井君、宮永君 長女、1級建築士試験に合格しました。:岩崎(浩)君

皆さん、明けましておめでとうございます。

本日、当ロータリークラブの今年最初の日に少し遅れて参りましたこと、誠に申し訳ございませんでした。

今日はこの後30分ほど時間を頂いて講演をさせていただきますが、そこでお配りする資料を印刷したり整理して持ってきたりということで遅れてしまいました。

つまらないことですが、弁護士時間というものがないことについてきたのかなあと感じています。本来は昔の海軍のように5分前の行動なのでしょうが、弁護士は遅れなければ良い、時間ぴったりに来る、という習性が身につけてしまっています。

それは、裁判所にはいくら早く行って、たとえ関係の皆さんが揃っていても早く始めるということはありません。そうした性でしょうか、皆さんにご迷惑をおかけしましたこと、申し訳ございません。

さて、本年の当ロータリークラブの活動ですけれども、コロナの情勢がまた大変なことになっておりますが、そのことにつきまして昨日の理事会におきましても例会や委員会などをこのままやっていくことが出来るか、ということをお話しながら議論いたしました。

コロナの性質について、どのようにしてうつるのか、といった話を詳しくお聞かせ頂く中で、今のところの情勢では、山陰(米子)のあたりにおいては、例会は気を付けてやれば良いだろう、ということでここに至っております。

しかしながら、また情勢がどのように変化するか分かりませんので、そのことにも気を付けながら、そして

「集まって例会をする」ということについて、もう1つ石部先生から注意を頂けることがあるということもおっしゃっておられました。そのことにつきましては、幹事や担当理事の方からもご説明があると思いますし、文書の発信も含め、こんなことに気を付けて集まっていこう、ということをもた皆さんにお知らせするつもりです。それらのことに気を付けながら例会を運営していきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

幹事報告

- (1)理事・役員・委員 構成表 1/6現在版 配布
 会員106名 長谷川進会員退会により
 社会奉仕委員会リーダー 西村 偉会員就任
- (2)1/27クラブ協議会のご案内
- (3)<再度>2/9 5RC合同例会中止
- (4)12/13岩崎地区ガバナーエレクト国際協議会出席の
 壮行会にご出席お礼状
 (菊池地区ガバナー他より)
- (5)2021-22年度地区委員会(IA)推薦のお願い
 (")
 林 次期IA委員会リーダー予定
- (6)事務所移転のご案内
 (一般社団法人 米子青年会議所より)
- (7)例会変更のお知らせ
 米子中央RC 1/7・21(木) 休会 ビジター受付なし
 米子 1/8・29(金) " "
 境港 1/12・19(火)臨時休会 "
 1/26(火)休会 "
 米子南 1/11(月)休会(祝日) "



ロータリーは機会の扉を開く
ROTARY OPENS OPPORTUNITIES



〈本日のプログラム〉 会長放談

本日は日露戦争海戦史という、ちょっと変わったお話をしたいと思います。

ロータリークラブではこれまでも、自分でも楽しみながら自分の興味があることをお話してきました。最近では世界平和のために国際法がどんな仕組みを持っているかについてお話させていただきましたし、20年位前には貧困についてお話したことがあります。最近、興味をもって本を読んでいることが主に3つありまして、一つは“文明批評”、文明を発達・進化させていくことで本当に人間は幸福になるのかという視点を持ち研究する人が増えているということ、二つ目は“貧困格差”、世界から見ても日本は格差・階級社会になってきているということ、もう一つは戦前の日本はどうだったかという“歴史”に興味を持っています。そこで本日は戦前の歴史の中の一つ、日露戦争についてお話をしたいと思います。

伊藤正徳が昭和31年に文芸春秋社から出版した「大海軍を思う」という本を読み直し、お話をまとめてみました。その本に書いてあることは、戦前の社会では子供も大人も誰でも知っていたことであるのに、私たちは何も知りません。

以下要点。

序：日清戦争と三国干渉

開戦(1894) 黄海海戦等で勝利し、遼東半島割譲等の講和(1895)
三国干渉(露、独、仏)、遼東半島を返還、露が同地を租借
臥薪嘗胆としての大建艦、日露で軍艦購入戦も

①日露海軍力

日：連合艦隊、長官(東郷平八郎中将)、旗艦三笠
※バルチック艦隊が来るまで、艦隊を傷をつけずにどう勝つかが問題
露：旅順艦隊(遼東半島先端)、ウラジオストック艦隊、バルチック艦隊

②開戦(1904)

連合艦隊は、旅順口閉塞戦を展開し、旅順艦隊の旗艦を爆沈しマカロフ長官を戦死に

③8月10日の海戦

露の旗艦ツェザレウィッチを攻撃し、同艦は死人の舵取り

④ロシア旅順艦隊の要塞安住

連合艦隊は攻めあぐねた。

⑤203高地撃滅戦

海軍の要請に応じて、陸軍(乃木將軍)が旅順の203高地(地上3000メートル)を攻略して同所から旅順艦隊を砲撃

⑥バルチック艦隊の大遠征

ニコライ皇帝「本国の艦隊を急派し日本の艦隊を撃破してその陸軍を満州に孤立させ全滅させる。」
バルチック艦隊の回航は難航、同盟国英の助力等

⑦日本海海戦

バルチック艦隊はどこに来るか、津軽?、対馬海峡?
長官(東郷平八郎中将)決済、「ここ(朝鮮半島南端の鎮海湾)で待とう。」
露艦発見、東郷「皇国の興廃この一戦にあり。各員一層奮励努力せよ。」
ここまで疲弊したバルチック艦隊に対して完勝

※バルチック艦隊がどこを通っているのかはイギリスからの情報があり、新聞に載っていたため、誰もが知っていた。



次回プログラム

1/13 「ロータリーの友」 紹介 雑誌委員会 岡 久治リーダー

「年男・年女放談」 石井敬薫会員・永島清孝会員・荒川圭三会員・面谷博紀会員